

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 28 日
研究・研修課題名	小児薬物療法認定薬剤師の新規取得・更新に係る研修会および学会への参加
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院・薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	北郷 真史(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	北郷 真史、立岡 美穂(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( )
該当者名(所属)	北郷 真史(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	会名：第 48 回日本小児臨床薬理学会学術集会 会期：2021 年 10 月 23 日～10 月 24 日(ハイブリッド開催) 認定名：小児薬物療法認定薬剤師
演題名・認証交付元等	日本小児臨床薬理学会
取得日・認定期間等	立岡美穂 認定期間：2019. 7. 15～2022. 7. 14
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

当院の小児科では、多くの患児を対象として小児入院医療管理料を算定している。同管理料では患児およびその家族への服薬支援や薬学的管理が包括されており、小児領域における高度な専門性を有する薬剤師の存在が求められる。小児領域における薬剤師の認定資格には、日本小児臨床薬理学会と日本薬剤師研修センターが認定する小児薬物療法認定薬剤師があり、当院薬剤部では 1 名が取得している。一方、本年 4 月より総合周産期母子医療センターが稼動となり、新生児や小児領域における最新かつ高度な知識や技能を有する薬剤師のさらなる育成は必要不可欠である。

そこで、小児薬物療法認定薬剤師の新規取得および更新を目的として、小児薬物療法研修会および第 48 回日本小児臨床薬理学会に参加し、必須単位を取得する。

② 方法

認定更新の為に必須研修である第 48 回日本小児臨床薬理学会学術集会に参加する。

今年度の本学会はハイブリッド開催(現地開催/web 開催)であり、今年度は web 参加とした。

③ 成果

薬剤部では病棟薬剤業務実施加算を算定するため、総合周産期母子医療センターの各病棟においても、担当薬剤師を配置している。その当該病棟の薬剤師が上記学会に参加することで、新生児領域という特殊分野における最新の知見や現状の問題点など、多くの知識を得ることができた。また、薬剤部内の教育研修会において情報共有を行うことで、新生児医療の質の向上へ寄与する薬剤師のスキルアップを図った。さらに、今後、小児薬物療法研修会への参加、小児関連実務研修を受け、認定試験受験・小児薬物療法認定薬剤師の資格取得を目指していく予定である。

当院の小児薬物療法認定薬剤師取得者も更新を目的として参加予定であったが、産休中であったため本年の参加は見送った。